

東芝ホクト電子(株) サイトレポート情報

所在地 : 北海道旭川市南5条通23丁目1975番地

敷地面積 : 37,260m²、建家面積 : 18,800m²、緑化率22.9%

設立 : 1945年8月、従業員 : 331人 (2011年5月末現在)

主要製品 : サーマルプリントヘッド、フレキシブルプリント板、DNAチップ
電子レンジ用マグネトロン、航空機用カラーディスプレイ管

ISO14001認証取得 : 1998年9月、最新更新年月 : 2010年7月
(ISO認証番号 : EC98J1066)



ごあいさつ

東芝ホクト電子(株)は、北海道の屋根大雪山を望む、水と緑に輝くまち旭川で事業を展開しています。私たちはよりよい地球環境を守り育てるため、環境保全活動を積極的に取り組み、1998年には環境保全システムを本格的に整備しISO14001を取得。将来にわたって自然というかけがえのない財産を次代の人々に引き継ぐため、人と地球にやさしい企業活動を続けていきます。



環境保全責任者 竹内一馬

2010年度の環境の主な取り組み

- ISO14001環境マネジメントシステム
 - ・ 1998年9月に認証を取得、2005年8月には2004年版の認証を取得し現在も継続
- 二酸化炭素排出量の削減
 - ・ 二酸化炭素排出量(エネルギー)を、2001年度と比べて、41%削減
- 排出物の総排出量削減
 - ・ 排出物の総発生量を、2000年度と比べて、87%削減
- ゼロエミッションの継続
 - ・ 2003年9月にゼロエミッションを達成し現在も継続中
- 環境法令等の遵守
 - ・ 定期自主測定の実施(大気、水質、騒音、振動)
 - ・ 廃棄物処理委託先の現地確認実施
- 社外コミュニケーション(地域との協調)
 - ・ 環境ポスターコンクールの開催
 - ・ 旭川市主催「エコチャレンジ家族コンテスト」協賛
 - ・ 当社敷地周辺の清掃ボランティア活動実施
 - ・ 会社敷地周辺の花壇整備実施

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介



【サーマルプリントヘッド】



【フレキシブルプリント基板】



【DNAチップ】



【電子レンジ用マグネトロン】



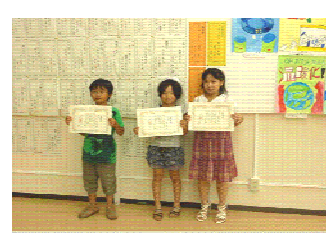
【航空機用カラーディスプレイ管】

環境コミュニケーションの紹介

- ・ 環境報告書の発行 : 2006年度より毎年発行しています。
- ・ 地域交流会開催
 - 2005年度より当社敷地周辺にお住まいの方をご招待し交流会を開催しています。
- ・ 近隣小学校環境標語・ポスターコンクール開催
- ・ 旭川市主催「エコチャレンジ家族コンテスト」協賛



エコチャレンジ表彰式の様子



ポスターコンクールの様子

環境基本方針

東芝ホクト電子(株)は、北海道のほぼ中央に位置する大雪山連邦からなる緑の山並みに抱かれ石狩川と多くの支流が合流する豊かな自然に恵まれた「～豊かな水や緑と北国の暮らしが調和する環境に優しいまち～」旭川市に位置し、地域住民と共存しながら、電子部品（サーマルプリントヘッド、フレキシブルプリント板、マグネトロン、DNAチップ、その他）の事業を担い、その事業活動、製品・サービスを通じ、より環境に配慮した環境経営活動を推進すると共に、環境調和型製品・サービスを社会に提供し、社会に貢献することを目指します。そして、環境を維持改善する取り組みを、経営の最重要課題の一つとして位置づけ、東芝グループ環境ビジョンのもと、「“かけがえのない地球”を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って行動します。

1. 事業活動、製品・サービスに関わる環境側面について、環境影響評価結果に基づき、環境目的および目標を設定して環境活動を推進し、継続的な改善・向上に努めます。
2. 監査の実施や活動のレビューにより環境経営の継続的な改善を図ります。
3. 環境に関する法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準などを順守します。
4. 環境調和型製品の提供及び事業活動・サービスに係る環境側面について、環境貢献及び環境負荷の低減に配慮した環境活動を推進します。
 - 1) 製品に含まれる環境に影響を及ぼす化学物質の削減
 - 2) 地球資源が有限であることを認識した製品作りの推進
 - 3) 地球温暖化防止のため二酸化炭素排出量の削減の推進
 - 4) 廃棄物総発生量の抑制
 - 5) 環境汚染防止のため化学物質の適正管理の推進
 - 6) 生物多様性を含む地域の特徴に根ざした環境活動の推進
5. 環境活動を実施し維持・向上するための環境教育を全従業員に実施し、理解と意識向上を推進します。
6. グローバル企業として、東芝グループ一体となった環境活動を推進するとともに関係会社等への指導、支援を行います。
7. 地域との相互理解の促進のために、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

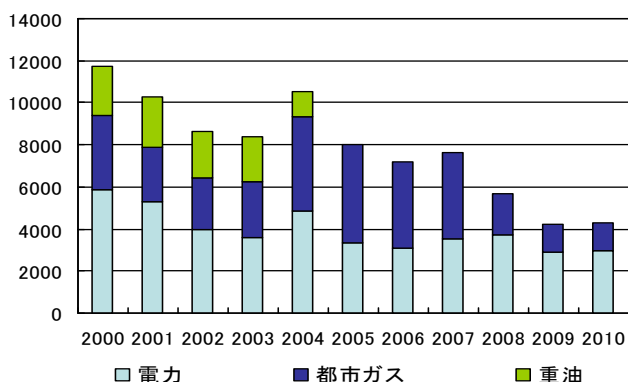
*****この環境基本方針は社内外に公表する*****

2011年6月1日

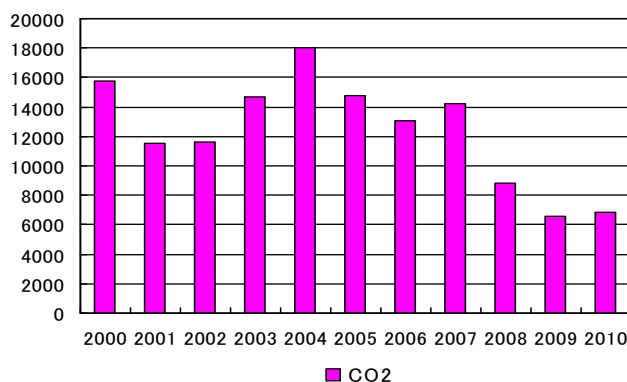
東芝ホクト電子株式会社
取締役社長 竹内 一馬

環境負荷データ

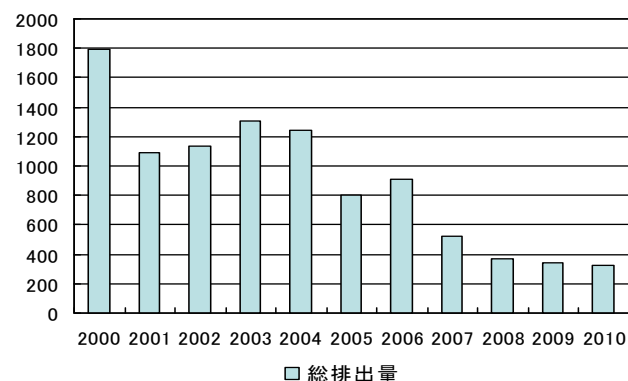
エネルギー使用量(単位:KL)



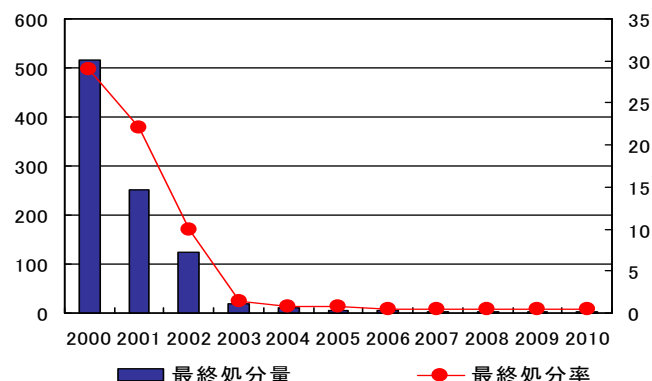
CO2排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

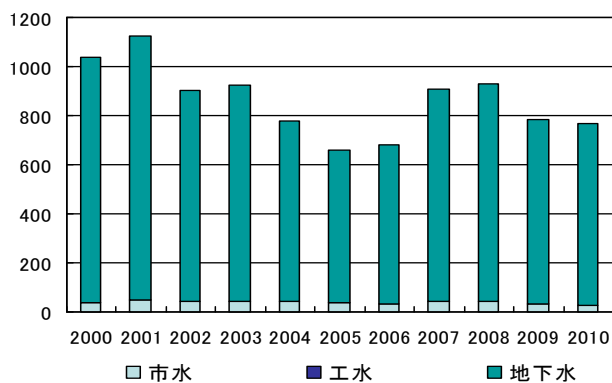


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

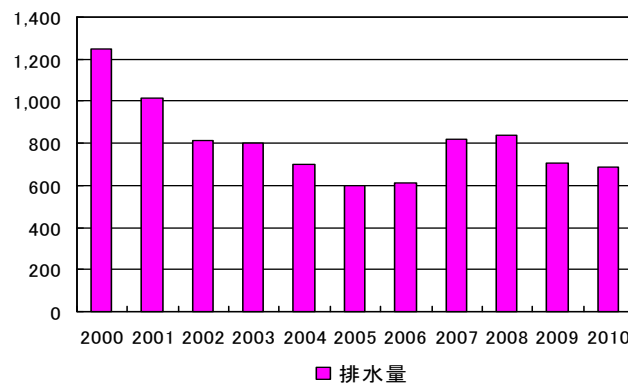


主な廃物名:酸、汚泥、金属、ガラス、プラスチック、廃油等

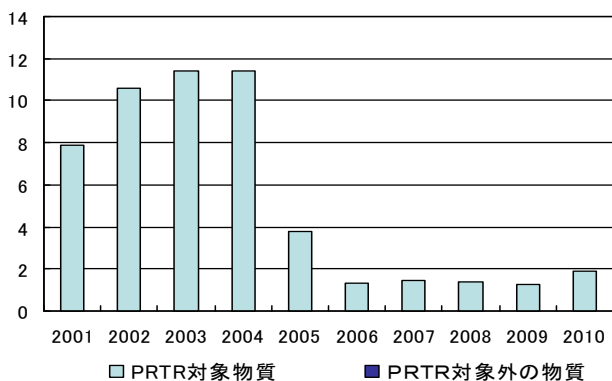
水の使用量(単位:千m³)



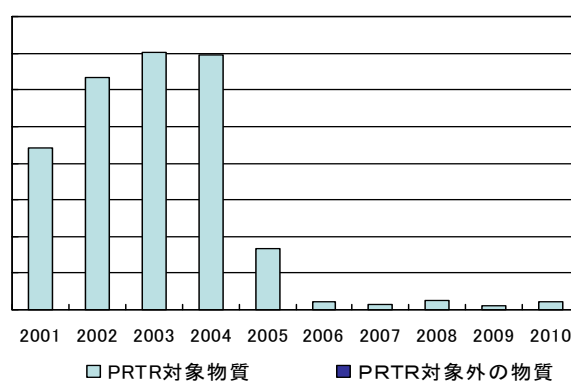
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量推移(トン)



化学物質削減対象物質の排出量推移(トン)



主な化学物質:ふっ化水素、ホルムアルデヒド

遵法管理状況

大気測定結果(ガスボイラー(都市ガス使用) X3台)

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	-	-	24~29	年1回
SOx(Nm3/h)	0.36~5.18	-	0.01	年1回
ばいじん(mg/Nm3)	-	-	0.01	年1回

排水測定結果(主な測定結果)(排水処理施設(酸又はアルカリ表面処理施設、河川へ放流)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6(水濁法)	6.1~8.3	7.4	月1回
BOD(mg/ℓ)	160(水濁法)	25	3.8	月1回
COD(mg/ℓ)	160(水濁法)	13	2.6	月1回
SS(mg/ℓ)	200(水濁法)	17	2.3	月1回
シアン(mg/ℓ)	1(水濁法)	0.3	0.1	月1回
六価クロム(mg/ℓ)	0.5(水濁法)	0.15	0.1	月1回
フッ素(mg/ℓ)	8(水濁法)	5.5	0.9	月1回
カリウム(mg/ℓ)	0.1(水濁法)	0.017	0.001	月1回
銅(mg/ℓ)	3(水濁法)	2	0.7	月1回
鉛(mg/ℓ)	0.1(水濁法)	0.03	0.01	月1回
溶解鉄(mg/ℓ)	10(水濁法)	2	0.2	月1回
ほう素(mg/ℓ)	10(水濁法)	0.3	0.1	月1回

騒音・振動測定結果(特定施設(騒音・振動 コンプレッサー施設))

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	55	54	43~47	年1回
	敷地境界:夜	50	49	39~48	年1回
振動(dB)	敷地境界:昼	65	50	23~46	年1回
	敷地境界:夜	60	50	19~35	年1回

環境事故・指導指摘・苦情の有無

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし